

令和7年度行政説明会あいさつ

令和7年4月23、24、25日

本日は行政説明会を開催いたしましたところ、夜分にもかかわらずご参集賜り厚くお礼申し上げます。日頃より、町政進展のためご理解とご協力を賜り重ねてお礼申し上げます。

退職される区長様には、長年の間、地域と行政のパイプ役としてご尽力を賜りましたことに、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。また、引き続き、新たに区長様としてご尽力いただく皆さまにおかれましては、よろしくお願い申し上げます。

就任以来、取り組んでおります町の行財政改革についてです。

令和4年度から、公正公平で公共性を重視した予算編成へと移行してきました。令和5年度は、行財政改革に取り組む担当部署を設置し推進体制を整え、「財政非常事態宣言」、「行財政改革推進計画」を策定・公表、令和6年度予算に反映させ執行してまいりました。

令和6年度においては、厳しいながらも創意工夫により貴重な予算の有効活用に努め、人件費、公共施設管理事業、一般財源負担など総額4億円余の抑制に取り組みました。その結果、令和6年度末の段階で単年度収支に改善の兆しが表れてまいりました。議会ならびに町民の皆さまのご理解ご協力に感謝申し上げます。

神明の花火は、令和5年度に引き続き令和6年度も黒字化を継続し、町からの持ち出しが無い状況です。一方、みたまの湯では、管理者との新たな契約により令和6年度1千万円余であった町への納入金が、今年度は4～5千万円見込める運びとなっております。また、国、県への要望活動をさせていただいた結果、地方交付税40億円余の当初予算に対し2億6千万円余、2,200万円余の土木費1,400万円余の増額補正をいただいております。総務省、国土交通省への要望活動の成果だと認識しています。他方、峡南医療センターへの繰入金に付きましては2億8,100万円余の当初予算から2,200万円ほど減額いたしました。しかしながら、峡南医療センターの経営状況は厳しく市川三郷病院診療所化のみに留ま

らず更なる連携強化策が必要と考えています。

改革の進捗状況につきましては、全135項目の全てにおいて詳細なタイムスケジュールを作成し、毎月報告をおこなっています。令和6年度評価項目130項目中121項目は「概ね計画通り」となっており、昨年比8項目で5ポイント向上しております。改革の取り組みが浸透しご理解ご協力していただいている結果だと、改めて議会および町民の皆様に感謝申し上げます。

しかしながら、3月27日策定の「財政の中期見通し」でお示ししているように人件費、光熱水費、物価高騰などの要因から依然厳しい状況には変わりありません。

令和7年度が行財政改革推進計画アクションプランの最終年となります。町を挙げて取り組ませていただきたいと考えております。

令和7年度予算では、厳しいながらも未来に向けた積極投資を行い、重点的に、六郷インターチェンジ周辺整備、みたまの湯周辺を含めた高付加価値化、脱炭素社会に向けた取り組みなどを強化していくとともに、公民館活動のあり方改善も研究してまいります。

また、誰もが安心した生活の実現を目指し民生費、衛生費、教育費を増額、高齢者及び障害者施策、子ども子育て施策、地域活性化施策、生活環境施策の確実な実施に向け取り組んでまいります。

このような状況下であっても教育費、子ども子育て施策は充実させ、複数校ある複式学級の解消、少人数学級、特別支援員など町単独教職員の配置を強化、保育所・小中学校施設改修整備、小中高等学校入学祝金の支給、学校給食費無償化事業などに取り組んでおります。

小中学校の適正規模・配置等の件では報道が先行しておりますが、本年、9月頃を目途に町の方針をお示ししたいと考えております。

昨今、「組」自治会未加入の情報を耳にします。「組」は自治組織ですが行政情報の伝達、火災や災害発生時には安否確認や避難行動の呼びかけ・誘導など、役場とのパイプ役として

重要な役割を担います。

また、「組」域内の街灯設置管理をはじめ安全安心対策、ごみ集積所の管理や河川清掃などの環境維持活動、祭りや行事の継承など地域コミュニティー維持確保のため、必要性は高く、活力ある地域づくりには「組」、「区」の自治会活動は重要であり、不可欠と考えます。

区長様におかれましては引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。